令和２年２月５日

保護者各位

東京都立田園調布高等学校長
鴻野　誠

【重要】新型コロナウイルス感染症を踏まえた健康管理について

立春の候、保護者の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

中華人民共和国湖北省武漢市で令和元年 12 月以降、新型コロナウイルスに関連した肺炎の発生が報告されて以来、世界各地から報告が続いています。国内でも新型コロナウイルス感染症の患者発生が複数確認されており、今後さらなる拡大が懸念されます。つきましては、ご家庭でも予防対策へのご協力をお願いいたします。

１　お子さまの健康観察

季節性インフルエンザ等の一般的な感染症における健康観察と同様に、お子さまの発熱や咳・咽頭痛等の健康観察について、引き続きご協力をお願いいたします。

２　ご家庭での感染症対策

石けんを使った手洗い等、改めて学校で指導してまいります。ご家庭におかれましても、季節性インフルエンザ等と同様、基本的な感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

～一般的な感染症予防のポイント～
①こまめに手洗いをする（流水で石けんを用い３０秒以上）
②消毒用アルコールなどを使用する
③人ごみではマスクを着用する
④室内の湿度は５０～６０％に保ち、換気を十分に行う
⑤普段から一人ひとりが「咳エチケット」を心がける
⑥規則正しい生活を送る（栄養バランスのとれた食事、適切な水分補給、十分な睡眠、歯・口腔の衛生等）

３　症状が出たときは

●武漢市から帰国・入国された方、あるいはこれらの方と接触され咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に医療機関に連絡した上で受診していただきますよう御協力をお願いいたします。また、医療機関の受診にあたっては、武漢市の滞在歴があること又は武漢市に滞在歴がある方と接触したことを事前にお申し出ください。

●新型コロナウイルス感染症は、学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）に定める第一種感染症とみなされます［学校保健安全法施行規則（昭和 33 年文部省令第 18 号）第 18 条第２項］。このため、お子さまが当該感染症にかかった場合、治癒するまで「出席停止」となります。

≪関連情報ホームページ≫

○コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について（内閣官房ホームページ）

○新型コロナウイルス関連肺炎に関する電話相談窓口（コールセンター）の設置について（東京都福祉保健局ホームページ）

○中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスに関連した感染症に関するQ&A（厚生労働省ホームページ）

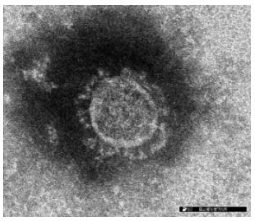
○新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～（首相官邸ホームページ）

【感染症に関する本校の問い合わせ先】
東京都立田園調布高等学校保健室
養護教諭　加瀬あづみ
Tel　03-3750-4346

～新型コロナウイルス感染症Q&A～ ※2/5 東京都感染症情報センターホームページより抜粋

Q　コロナウイルスとは？
A　発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、人に感染を起こすものは６種類あることが分かっています。そのうち、中東呼吸器症候群（MERS）や重症急性呼吸器症候群（SARS）などの、重症化傾向のある疾患の原因ウイルスも含まれています。それ以外の４種類のウイルスは、一般の風邪の原因の 10～15%（流行期は 35%）を占めます。詳しくは、国立感染症研究所ホームページ「コロナウイルスとは」をご覧ください。

Q　新型コロナウイルス感染症とは？
A　これまでに報告されていない新型コロナウイルス（2019-nCoV）に関連する呼吸器感染症といわれています。


新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真像
（国立感染症研究所ホームページより）

Q　症状は？
A　発熱、咳などの呼吸器症状が報告されています。

Q　感染源、感染経路は？
A　感染源は、現在調査中です。武漢市の市場（以下、華南海鮮城）の関係者から多数の患者が報告されており、野生動物の可能性などが考えられています。感染経路は、現在調査中ですが、患者と濃厚に接触することによる飛沫感染、ウイルスに汚染された環境に触れることによる接触感染が考えられています。ヒトからヒトへの感染は認められるものの、感染の程度は明らかではありません。

Q　潜伏期間は？
A　潜伏期間は現在のところ不明ですが、他のコロナウイルスの状況などから、（現時点では）最大 14 日程度と考えられています。他のコロナウイルスについては、国立感染症研究所ホームページ「コロナウイルスとは」をご覧ください。

Q　診断のための検査は？
A　患者の咽頭ぬぐい液や痰を検査材料として、遺伝子増幅法（リアルタイム PCR 検査や PCR 検査）等を行います。国が決めた条件に合った患者がいた場合、医療機関から保健所に連絡があり、検査をするか検討します。検査は、地方衛生研究所や国立感染症研究所で行います。患者又は医療機関の希望による検査は行っていません。

Q　治療方法は？
A　（現段階では）有効な抗ウイルス薬等の特異的な治療法はなく、対症療法を行います。

Q　予防方法は？
A　一般的な衛生対策として、咳エチケットや手洗いなどを行っていただくようお願いします。また、十分な栄養と休養、人込みを避けるなども有効です。発熱や咳などの症状がある人との不必要な接触は避けましょう。接触をした場合は、十分な手洗いをしましょう。野生動物や、動物の死体に触れないようにしましょう。現時点で予防接種はありません。

Q　発生状況は？
A　最新の状況については、厚生労働省ホームページをご覧ください。

Q　新型コロナウイルス感染症の患者と接触したときは？
A　保健所が、感染した可能性がある人の健康観察、症状出現時の対応の調整を行います。接触後 14 日間は、一日２回の体温測定と、発熱、咳、倦怠感などの症状が出現しないか注意して過ごしましょう。２週間の間に、発熱や呼吸器症状がある場合には、マスクを着用するなどの咳エチケットを実施の上、医療機関を受診するようにしてください。その際、事前に患者と接触があったことを申告するようにしてください。また、タクシーや公共交通機関の利用はできるだけ避けてください。

Q　新型コロナウイルスに感染したと思ったら？
A　発熱や呼吸器症状がある場合には、マスクを着用するなどの咳エチケットを実施の上、医療機関を受診するようにしてください。その際、事前に武漢への滞在歴や患者との接触歴がある旨を申告するようにしてください。また、タクシーや公共交通機関の利用はできるだけ避けてください。

Q　学校・職場で患者が発生したら？
A　まず保健所により調査が行われ、感染した可能性がある人の健康観察を行います。また、必要な場合、消毒などの対応をお願いすることがあります。

Q　患者が発生している地域から帰国したら？
A　症状がなければ、通勤・通学・公共交通機関の使用などに制限はありません。発生している地域を出国した日から 14 日間は、自身の健康状態を確認し（できれば一日２回の体温測定）、発熱や咳などの症状があらわれたら、外出を見合わせてください。受診をする際は、事前に医療機関に連絡し、患者が発生している地域への滞在歴があることを伝え、マスクをして受診してください。受診の際は、タクシーや公共交通機関の利用はできるだけ避けてください。

首相官邸 HP より抜粋

一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症対策は？

■新型コロナウイルスに感染しないようにするために

過剰に心配することなく、「手洗い」や「マスクの着用」を含む
「咳エチケット」などの通常の感染症対策が重要です。

（1）手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

（イラスト：政府広報オンライン）

（2）普段の健康管理

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

（3）適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ちます。

■ほかの人にうつさないために

＜咳エチケット＞

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれませんので、次のような咳エチケットを心がけましょう。

- マスクを着用します。
- ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- とっさの時は袖や上着の内側でおおいます。
- 周囲の人からなるべく離れます。

（イラスト：厚生労働省）

＜正しいマスクの着用＞

感染症 ひとくち情報

新型コロナウイルス感染症について

２０２０年１月２９日
東京都健康安全研究センター

１．新型コロナウイルス関連肺炎について

中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市において、令和元年 12 月以降、新型コロナウイルス（2019 - nCoV）に関連した肺炎の発生が報告され、中国を中心に世界各国からも発生が報告されています。国内でも、武漢市滞在歴のない症例も含め７件報告され、うち２件は都内からの報告です。

感染すると、発熱、咳などの呼吸器症状等の症状が出現し、高齢者や基礎疾患のある方は重症化する場合もあると言われています。ヒトからヒトへの感染が認められるものの、ヒトからヒトへの感染の程度は明らかではありません。

２．発生状況

2020 年 1 月 28 日正午時点の厚生労働省のまとめによると、中国で 4,500 人を超える感染者が報告されています。また、中国本土以外では、日本、タイ、韓国、台湾、米国、ベトナム、シンガポール、フランス、オーストラリア、マレーシア、ネパール、カナダ、カンボジア、スリランカ、ドイツで報告されています。

３．対策のポイントについて　～手洗い、咳エチケット、消毒～

季節性インフルエンザと同様に手洗いや咳エチケットなどの感染症対策が有効です。

○流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目等に触る前には手洗いを徹底しましょう。

○咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆う等の咳エチケットを守り、周りの人への感染を予防するため、サージカルマスクを着用し、人が多く集まる場所は避けましょう。

○ドアノブなどの手指がよく触れる場所は、消毒剤を浸したペーパータオル等によるふき取り消毒を行いましょう。消毒剤は次亜塩素酸ナトリウム（製品に表示されているとおり希釈したもの）や消毒用エタノール等が有効です。

４．中国武漢市から帰国・入国され、症状が出現した場合には

入国してから２週間の間に、発熱や咳、くしゃみなどの呼吸器症状がある場合には、マスクを着用のうえ、速やかにお住まいの地域の保健所に連絡し、医療機関を受診するようにしてください。その際、海外滞在歴を申告するようにしてください。